

チョウゲンボウ（ハヤブサ科） 全長35センチ

北檜岡の野球場周辺に、広大な採草地と畑が広がっている。連日の猛暑が続き、農作業する人の姿は殆ど見当たりません。

畑の中にある育苗用ビニールハウスの上で、1羽のチョウゲンボウが休んでいた。翼を半開きにしたまま垂れ下げ、クチバシもあいたまま。暑さのせいかな、ボーとした表情に見えます。暫く見ていたが、道路を横切る車に警戒することもなく、殆ど動きがありません。



どこか、ボーとしているように見えたが・・・。

そして約15分後、いきなり飛び立った。ほぼ水平に向かった先は、堤防の斜面草むらの中。程なくしてビニールハウスに戻って来ると、足元には細長い緑色の昆虫が。バッタの仲間か、カマキリのようにも見えます。

チョウゲンボウはボーとしていたのではなく、数十メートルも離れた草むらに潜む小さな虫を見つける程の集中力で、周囲を見張っていたのです。



目指す獲物を見つけて、颯爽と飛び立った。



間もなく戻って来た。

捕まえた緑色の虫は草の色とそっくりです。それを見逃さずに捕らえたチョウゲンボウはすごい。野鳥観察の拙さを思い知らされ、ボーとしていたのは私の方でした。



足元には細長い緑色の昆虫が。



餌を食べ終えた後の姿勢は格好いい。